家庭園芸 花のプランター作り（冬の手入れ）

春咲き球根類を植付けたプランターは、雨のあたらない所に置いていてうっかりしていますと、用土が乾いて枯れることがあります。土の乾きすぎに注意して下さい。

熱帯から温帯性の寒さに弱い観葉植物、草花は屋内に取り入れてあると思いますが、それぞれの生育に必要な温度に注意し、なるべく適温を確保するよう努力して下さい。温度が不足ぎみのときは、用土の表面が乾いてもすぐに与えないで、四～五日たってから午前中に与えます。

また、暖房している部屋に入れたときは、温風が直接植物にあたらないような場所を選びます。昼と夜の温度差は十～十五度くらいの範囲にするのが理想的です。特に明け方の冷え込みには注意して下さい。暖房しているプランターの水くれは、用土の表面が乾いたらすぐに与えます。

現在利用していないプラスチック製プランターは、寒くなると衝撃にもろくなります。用土を出して洗った後、注意して収納した方がよいでしょう。

（園芸センター）

「初代万代橋の親柱」
81年ぶりに柏崎から里帰り

明治四十一年の大火によって焼失したと思われていた初代万代橋の親柱が、遠く柏崎市の神社で発見され、市制百周年記念にと、関係者の好意で里帰りしました。

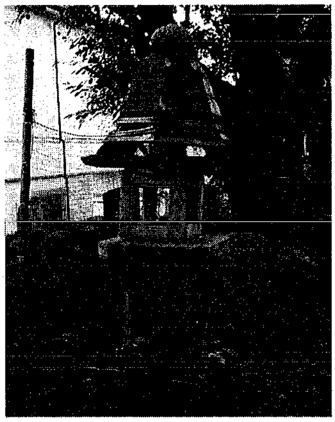
この親柱は、柏崎市の石井神社の境内で木製の燈ろうの柱部分になっていました。屋根の内側には由緒書きの銘板があり「この柱は新潟市と沼垂を結ぶ万代橋のらんかんの親柱で、大火の際西側の二本は焼失、東側の二本が焼け残った…」と書いてあり、焼け残った東側のものの一本であることを示していました。また地元では、この燈ろうが置かれていた境内の築山を万代山と呼んでいたそうで、お年寄りの間では、この燈ろうが万代橋の親柱で造られていたことは知られていたとのこと。

この燈ろう、長年の風雪に耐えていましたが、ここ数年で老朽化が進み倒れる恐れもでてきており、同神社の氏子総代会で「ここでこのまま終わりになるよりは、市制百周年の記念として故郷の新潟市に返してあげたら万代橋も喜ぶのでは」との声があがり、八十一年ぶりの里帰りとなったものです。

なおこれとは別に、市では現在の三代目万代橋が還暦を迎えたことを記念して、橋の西側（派出所前）に写真や絵を基に初代万代橋の親柱を復元したばかり。

十二月一日に緑町の郷土資料館に到着した親柱。現在傷みがひどいため、修復した後に同館で公開されることになっています。

初代万代橋の親柱が描かれている「新潟萬代橋」図・五姓田芳柳筆（郷土資料館蔵）



燈ろうとなって柏崎市の神社で発見された初代万代橋の親柱。修復後、郷土資料館で一般公開されます

ひまわりクラブ 学童保育
入会申し込みは1月8日から

問い合わせは各クラブへ

ひまわりクラブは、放課後学校から帰っても保護者や保護者にかわる人がいない家庭の児童を、地域の皆さんの協力を得て生活指導する場です。二年度の入会申し込みを次のように受け付けます。

受付期間　一月八日～二十日、午後一時～四時

対象児童　小学校一年生～三年生

経費　おやつ代、雑費など（各クラブにより異なります）

施設名	所在地	電話
鏡淵ひまわりクラブ	白山浦1　鏡淵小学校内	265-4648
入舟ひまわりクラブ	附船町1－4385－1	224-5251
桃山ひまわりクラブ	船江町1－86－5	275-1230
木戸ひまわりクラブ	中山4－2－6	275-1489
白山ひまわりクラブ	川端町1　白山小学校内	224-5833
新潟ひまわりクラブ	東大畑通2番町　旧大畑小学校内	224-5201
女池ひまわりクラブ	女池5－2－46	284-0194
東中野山ひまわりクラブ	東中野山6－4－15	276-6611
真砂ひまわりクラブ	真砂4－9－30	232-0938
小針ひまわりクラブ	小針2－26－8	232-0939
坂井輪ひまわりクラブ	寺尾上3－10－48	260-3263
有明台ひまわりクラブ	文京町15－4	267-4035
万代ひまわりクラブ	東万代町9－2	245-0923
東曽野木ひまわりクラブ	曽川乙182－217	283-3050
大形ひまわりクラブ	大形本町62－2	275-0915
五十嵐ひまわりクラブ	五十嵐1の町6221	260-5810
西内野ひまわりクラブ	五十嵐中島2616	262-0210
松浜ひまわりクラブ	松浜2－12－4	259-8074
長嶺ひまわりクラブ	蒲原町7－1　東総合庁舎内	241-4115
笹口ひまわりクラブ	米山1－11－12	245-4515
内野ひまわりクラブ	内野町471	263-3770
曽野木ひまわりクラブ	天野941	280-3471
中野山ひまわりクラブ	中野山5－5－2	276-0520
山潟ひまわりクラブ	弁天橋通3－4－1	287-2410
桜が丘ひまわりクラブ	姥ケ山6－6－25	286-7433
東山の下ひまわりクラブ	藤見町1－3－41	275-6767
下山ひまわりクラブ	平成2年1月開設予定	
浜浦ひまわりクラブ	平成2年1月開設予定	
有明児童センター	西有明町1－80	267-7311

申し込み　各クラブへ

開設日　毎週月曜日～土曜日。ただし、祝日および年末年始を除く（小学校内に開設のところは土曜日休み）

開設時間　学校の放課後から午後五時半まで。ただし、夏・冬・春休み中は午前九時～午後五時半まで

身体障害者を対象に 市職員を募集

⊠**試験日**　（第一次）平成二年一月十四日（日）

⊠**試験会場**　市役所本館講堂

⊠**職種・受験資格**　次のすべての要件を満たし、かつ①または②に該当する人。

ア　自力により通勤でき、介護者なしに一般事務職としての職務の遂行が可能な人

イ　身体障害者手帳の交付を受けている人

ウ　活字印刷文による出題に対応でき、かつ口頭面接可能な人

①一般事務・大卒　昭和三十四年四月二日以降に生まれた人で、学校教育法による大学（短期大学を除く）を卒業した人、または平成二年三月三十一日までに卒業する見込みの人

②一般事務・大卒以外　昭和三十九年四月二日から昭和四十七年四月一日までに生まれた人で、高等学校卒業程度の学力を有する人（ただし一般事務・大卒の資格に該当する人は除く）

⊠**試験内容（第一次）**　筆記試験（教養）と適性検査

⊠**試験案内・申込用紙**　人事課（〒951学校町通一ー六〇二ー一、本館四階）で差し上げます。郵送を希望する人は、返信用封筒（あて先を明記し、六十二円切手をはる）を同封のうえ、請求する封筒の表に「案内請求」と明記してお送り下さい。

⊠**申込期間**　十二月二十二日まで、午前八時半から午後五時（日曜日は休み）※郵送申し込みは二十二日の消印有効

申し込み・問い合わせ　人事課（☎内線2073番）へ

「新・にいがた10景」
市内でお好きな場所を教えてください

市報にいがたでは、市内であなたが気にいっているところを「新・にいがた10景」として募集しています。

万代橋や夕日の海辺など、だれでもが知っているところでも、見る時間や場所などによってはまったく趣を変えることがあります。

〝あなただけの新潟〟、大歓迎。身近な場所、おおいに結構。市内でお好きな場所をこの際に、そっとお教え下さい。

応募方法　①市内で好きな場所②好きな理由③好きな場所が観光スポットになるには何が不足しているか④好きな場所をできるだけ短い言葉でPR——などを記入し、市役所広報課（〒951学校町通一）へ

※写真や絵を添えていただけば、なお結構です。

締め切り　十二月三十一日

市報掲載　審査のうえ、一月以降に本紙で掲載の予定（採用分には薄謝を進呈）

問い合わせ　広報課（☎226ー2144）へ

NST ―― NT21 ―― 新春市政番組 ―― TNN ―― BSN

'90 新春トークスペシャル 新潟の女（ひと）　今昔

放映　1月1日午後6時～6時半

出演　若杉元喜新潟市長
河内さくらさん（郷土料理研究家）
中矢澄子さん（工房「花さかじいさん」主宰者）
駒沢瑞木さん（TOKIの会会員）

内容　昔から「新潟に杉の木と男の子は育たない」という言葉がある。これは反面、新潟の女性が良すぎて新潟の男性がめだたなかったことをあらわしたのかもしれない。昔から伝えられてきた新潟女性の良さはどこにあるのか、また現代にマッチした新潟女性の姿とはどんな姿か、4人のゲストと一緒に考えていきます。

貸本屋・なんか屋考 まちの文化いまむかし

放映　1月2日午前11時25分～11時40分

内容　荒物屋、竹屋、金魚売り、豆腐売り…。ちょっと前には、まちのどこででも見かけられた店や物売りが消え去って行く。そうした店のなかで貸本屋となんか屋（駄菓子店）は、多くの人にとって思い入れ深い所ではないでしょうか。

昭和から平成へと時代が変わったいま、そうした店はいまどうなっているかカメラと共に探り、また現代で、貸本屋となんか屋に相当するものはないのかも考えてみる番組です。

'90新春訪問インタビュー 私が見た新潟市

放映　1月3日午前7時～7時15分（再放送1月4日午前11時10分～11時25分）

内容　〝中にいては中のことがわかりにくい〟のたとえどおり、新潟市のことは住んでいる人には見えにくいものです。

県外から来られた支店長さんたちから新潟市のことを語ってもらい、視聴者のみなさんと一緒にこれからの新潟のまちづくりについて考える番組です。

クイズで知ろう 明日の新潟市

放映　1月3日午前9時～9時半

出演　若杉元喜新潟市長
午（うま）年の〝馬〟にちなんで、
⊙名前に「駒」がつく家族チーム
⊙午年の大学4年生のチーム
⊙市馬術協会のチーム

内容　市制100周年を経て、21世紀に向けて発展する新潟市。新水族館や港口部トンネルなど、明日の新潟市につながるプロジェクトを紹介し、市長自らクイズを出題します。解答者席には新年のうま年にちなんだ3チーム。楽しみながら未来を感じるひと時です。